



総合情報

主要日

| | |
|--------------------|-------------------|
| 選手村開村 | 7/30 (金) |
| 開会式 | 8/13 |
| コース下見 | 8/21 (土) ~ 23 (月) |
| チーム監督会議 (ポンツーンドロウ) | 8/22 (日) |
| 女子レース | 8/25 (水) |
| 男子レース | 8/26 (木) |
| 閉会式 | 8/29 (日) |

トレーニング場オープン

| | |
|---------------------------------|----------|
| Varibobi サーキット (自転車) | 7/30 (金) |
| Dekelia Athletics K3 施設 (ランニング) | 7/30 (金) |
| Dekelia 競泳場 (水泳) | 7/30 (金) |
| NOV 競泳場 (水泳) | 8/12 (木) |

連絡先

ATHENS 2004 Triathlon 競技本部

Gergely Markus, Competition Manager (ゲアゲイ・マルクス, 競技委員長)

Iolkou & Filikis Eterias, 142 34 Nea Ionia, Athens

Tel: +30 210 344 6551 Fax: +30 210 200 4500

E mail: gmarkus@athens2004.com

Hellenic Triathlon Federation (ヘレナトライアスロン連盟)

Dimitriou Ralli 37 & Marathonodromou, 15124 Maroussi, Athens

Tel: 210 614 2450 Fax: 210 614 2554

e-mail: eoet@ath.forthnet.gr

担当者

ATHENS 2004 Triathlon 競技本部

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| Competition Manager (競技委員長) | Gergely Markus (ゲアゲイ・マルクス) |
| Technical Operations Manager (技術担当) | Athanasios Nikopoulos (アタナシオス・ニコポロス) |
| Administration Manager (管理担当) | Vicky Karavagiou (ビッキー・カラバジヨ) |
| Results Manager (記録担当) | Vassilios Damouras (バシリオス・ダモウラス) |
| Field of Play Manager (競技エリア担当) | Stuart Fuller (スチュアート・フラー) |
| Venue Producer (設営担当) | Rocky Bester (ロッキー・ベスター) |

トライアスロン競技スタッフ数

| | |
|------------------|-----|
| 業務従事者 (給料を貰っている) | 31 |
| ボランティア | 247 |
| ITU 技術 | 22 |
| ギリシャ協会 | 9 |



アテネ 2004 トライアスロンコースマネジャー

| | |
|----------|--------------------|
| コースマネジャー | George Tsakmakidis |
|----------|--------------------|

国際トライアスロン連合 International Triathlon Union (ITU)

| | |
|----------------|----------------------------------|
| ITU 会長 | Les McDonald (レスマクドナルド) |
| ITU 事務局長 | Mark Sisson (マーク シソン) |
| ITU 技術代表 | Loreen Barnett (ロリーンバネット) |
| ITU 競技ジュリー | Bill Walker (chair) (ビル ウォーカー) |
| | Marisol Casado (マリソル カサド) |
| | Sheila O'Kelly (シーラ オケリー) |
| | Jamie Cadaval (ハイミー カダヴァル) |
| | Jacques Laparade (ジャック ラパレード) |
| ITU メディカルオフィサー | Doug Hiller (ダグ ヒラー) |
| 審判長 | Leslie Buchanan (レズリー ブキャナン) |
| チーフ技術オフィサー | Carsten Ditlefsen (カーステン デイトルフン) |
| チーフ機材技術オフィサー | Enrique Quesada (エンリケ ケサダ) |

競技情報

競技日時

オリンピック競技は、8月25日(水)(第12日目)に女子、8月26日(木)(第13日目)に男子が、ブリャグメーニオリンピックセンターで開催されます。

選手の出場枠

選手の出場枠は、男子50名、女子50名。

9カ国がそれぞれのレースで最大の3名の枠を持てる。その他の国は最大2名の枠を持てる。

競技仕様

競技は、1.5km スイム(1周回)のオープンウォーター、40kmのバイク(1周8kmを5周)、10kmのラン(1周3.3kmを3周)。水泳のスタート位置は、女子の競技の3日前に抽選で決定する。3種目は途中止ることなく行い、トップでフィニッシュした選手がウイナーである。

競技スケジュール

| | | |
|-------------|----------------|-------------------|
| 第12日目 | Wed (25/08) | |
| | スタート 10:00 終了: | |
| セッション TR01 | 12:45 | ブリャグメーニオリンピックセンター |
| 10:00-12:20 | 女子ファイナル | |
| 12:30-12:45 | 女子表彰式 | |
| 第13日目 | Thu (26/08) | |
| | スタート 10:00 終了: | |
| セッション TR02 | 12:35 | ブリャグメーニオリンピックセンター |
| 10:00-12:10 | 男子ファイナル | |
| 12:20-12:35 | 男子表彰式 | |



選手 & 監督会議 (スタート位置の抽選)

抽選は8/22(日)18時からブリアグメーニのオセアニダレストラン (the Oceanida Restaurant) (登録者のみ)で行われる。この抽選は、選手の栈橋上のスタート位置を決める (世界ランク上位10人は選んだ場所の名を伏せてもらえる権利あり) ものです。

選手とチームリーダー会議も同じ場所で抽選の時に進行される。最終出場確認は抽選の後行う。

レース当日、各チーム監督は観客席の特定エリアに座ることが制限される。チームオフィシャルはアスリートラウンジや医療エリアに立ち入ることができない。レーススタート前やフィニッシュ後も、選手はフェンス越しに監督らと話しをすることになる。

登録

全ての選手は8/21と8/23のコース下見をするために、登録しなければならない。選手はリストバンドとヘルメットステッカーを登録時に受取る。

競技登録:

- 選手はレースパッケージを選手 & 監督会議前に受取る(オセアニダレストラン Okeanida Restaurantで)。中には、バイクナンバー、ヘルメットステッカー3枚、タットウシール(説明書きあり)、バイクボトル(500ml)2本がある。選手はスイムキャップとトレーニングチップを競技前のユニフォームチェック時にアスリートラウンジで受取る。バイクチェックはトランジションエリアで行われている。

スポーツ情報

トライアスロンに関するスポーツ専門の情報は3つの情報デスクから配信される。一つはNOVのトレーニングセンターで8月12~25日の07:30-12:00と16:00-20:30。2つ目は、競技サイトのブリアグメーニオリンピックセンターで、8月21日、23日、25日と26日の07:30-12:00に営業。

第3のデスクは、オリンピックビレッジのスポーツ情報センター(SIC)内。オリンピックビレッジ開村前の7月23日からトライアスロン終了までの07:00-22:00。

全てのデスクで競技スケジュール、トレーニングスケジュール、リザルト/スタートリスト、スポーツ技術情報やITU/ATHOC関連情報が得られる。スポーツ特有の情報は、7月27日からオリンピック終了まで、SIC内のINFO 2004ステーションでも得られます。

競技ルール

アテネオリンピックトライアスロン競技はITUルールに則って行われる。ATHOC(アテネ組織委員会)がこの競技運営に責任をもち、ITUルール通りに行われることを保証する。

競技リタイア

選手は次の場合にリタイアとなる。

- バイクの先頭が1周戻ってくる前にスイムを終了できない場合;
- バイク中周回遅れになる場合;
- ランコースとバイクコースが重なる地点で、ラン先頭がこの地点に来る前にバイク(最終周回)で通過できない場合

リタイアした選手は、近くのホイールストップかエイドステーションで、コースから速やかにでなければなりません。選手やその使用機器類はレース後に回収されます。速やかに計測や結果へ反映させるために、リタイア選手は速やかにマーシャルにナンバーと名前を報告しなければなりません。



ユニフォームと競技機材

ATHOCから支給されるユニフォーム類は ITU 仕様に準拠したものです。

選手の機材チェック

競技前に、アスリートラウンジで選手のスイムスーツがチェックされます。バイクとヘルメットは21日と23日の下見前に選手が下見用コースに入った直後と、レース当日のトランジションエリアへのチェックインの時に行われます。レース当日は係員が選手のバックの中身をルール61条に準拠しているかどうかチェックします。

IOC ルール 61 条(ロゴマークの制限)

IOC のルール 61 条は、商業パブリシティの禁止、あるいは、競技中に使用する機器や衣類にその製造者のネームが、規定範囲を超えて目立つ表示がなされることを禁止しています。オリンピック競技中は、このルールが各国際競技団体のコマーシャル規定に優先されて適用されます。

ATHOC 競技マネジャーは、選手、競技関係者の衣類や競技エリアに持ち込まれる機器類について、この IOC ルール 61 条を遵守させる責任があります。選手、競技関係者が競技エリアに入る直前に、競技マネジャーは、ユニフォーム・練習ウエア、あるいは機器類についてチェックします。この検査はレース前にも表彰式前にも行われます。各国オリンピック委員会は、不適切なロゴやサインをカバーするよう求められています。

アテネ到着前に各国オリンピック委員会は（日本オリンピック委員会も）全てのアテネオリンピック用ユニフォーム・練習ウエアを IOC ルール 61 条に準拠しているかどうかチェックするよう指示を受けています。

ルール 61 規約

1. 人、スポーツウエア、アクセサリ、あるいはもっと一般的にどのような衣類や機器のアイテムであっても選手がオリンピックにおいて装着し利用する場合は、特段の製造者名を以下の条件で示す物以外は、公開や広告、商業的な形態で衆目に晒される状態で製造者などの宣伝的な表示をしてはならない。
 - 1.1 製造者名は衣類アイテム毎に1つ以上表示されてはならない。
 - 1.2 機器: いかなる製造者名もその表面積の 10% を超えて表示されてはならない。製造者名の表示のない面積が60平方センチメートル以上あること。
 - 1.3 ヘッドギア(例 帽子, ヘルメット、サングラス、ゴーグル) と手袋: 6 cm² を超える製造者表示があってはならない。
 - 1.4 衣類 (例. T-シャツ, ショーツ、スウェットトップス、スウェットパンツ): 12 cm² を超える製造者表示があってはならない。
 - 1.5 靴: 通常の特定の製造者デザインパターンは許容する。製造者名/ロゴも表示許容。但し最大 6 cm² で、通常の特定の製造者デザインパターンの一部であっても独立していてもよい。



バイクの輸送

チームオフィシャルは選手のバイクについての管理責任があります。全てのバイクがレース前日までに会場に到着していなければなりません。レース期間中ずっとオリンピックビレッジに滞在しているチームに関しては、ATHOC 競技マネジメントがレース前日にバイク搬送できるよう手配をします。これは下見日も同じです。手順は以下の通り。

選手村滞在選手のバイクピックアップ

チームオフィシャルはレース前日の 15 時から 16 時の間に TBC の Equipment and Sport Information Supervisor の所に選手のバイクを持っていかなければなりません。詳細情報は SIC からお知らせがあります。

選手村滞在しない選手のバイクピックアップ

オリンピックビレッジに滞在していない選手は、ブリアグメーニ オリンピックセンター内競技本部 の Sport Equipment Supervisor にレース前日の 17:30 から 18:30 の間にバイクを届ける必要があります。チームオフィシャル は預託時にサインをします。

レースサイトにおけるバイク集め

搬送係はレース前日の 17:30 から 18:30 の間にオリンピックビレッジから Sport Equipment Supervisor にバイクを届けなければなりません。ブリアグメーニ オリンピックセンターに入場する際、バイクのセキュリティチェックがあります。

バイクメカニックセンター

以下のスケジュールでバイクメカニックサービスがブリアグメーニで受けることができます。

| | |
|----------|--------------|
| 8/21 (土) | 07:00- 11:00 |
| 8/22 (日) | 08:00-12:00 |
| 8/23 (月) | 08:00-12:00 |
| 8/24 (火) | 08:00-12:00 |
| 8/25 (水) | 07:00- 11:00 |
| 8/26 (木) | 07:00- 11:00 |

バイク預託

Sport Equipment Supervisor がバイクの保管の責任を持っている。バイクは全て バイクメカニックセンター.に保管される。

レース前のバイク渡し

選手はバイクメカニックセンターで7時半からトランジションエリア閉鎖までの間にバイクを浮けとることができます。



会場

ブリアグメーニ オリンピックセンターは 南アッチカの郊外の ブリアグメーニにあり、オリンピックビレッジから 45km 離れています。トライアスロン会場は、ギリシャのメインポートに近いアッチカ海岸の南のピラウスに位置します。レースはブリアグメーニ市街を広く用い、スイムは最も有名なオセアニダビーチで行われます。会場には 3,000 席の観客席が用意されます。

なお、自転車のタイムトライアルも、ブリアグメーニ オリンピックセンターで開催されま

会場オリエンテーション

コースはパブリックエリアでいつでも入ることができます。選手やチームオフィシャルは下見の際、交通に気をつけて行って下さい。トランジションとオセアニダビーチ内のフィニッシュエリアは 8/21 迄にセットアップされ、コースインスペクションも下見時に可能です。

8月21日(月)から23日(水)はフルコーストレーニング日で、登録された選手とチームオフィシャル以外はアクセスできません。

8月12日から26日(トレーニング日, 下見日, レース日)は、選手とチームオフィシャルはバスでオリンピックビレッジから運んでもらえます。

オリンピックビレッジ以外に滞在の選手とチームオフィシャルは、自分達がどのように会場に来るかは自分で準備して下さい。

ブリアグメーニ オリンピックセンターの足は非常に限られています。トライアスロンサイト入場バスをもつ車両はコースの交通封鎖も入場できます。次の日が封鎖日です。

| | |
|----------|---------|
| 8月21日(土) | 7:30 前 |
| 8月23日(月) | 09:00 前 |
| 8月25日(水) | 08:00 前 |
| 8月26日(木) | 08:00 前 |

下見セッション

下見セッションは全てのチームにレース環境での練習を可能にするものです。練習時間を確保するために、トレーニングセッション毎の To secure a practice time, please see the training site scheduling procedures on the Training section of this Guide.

レース会場の設備

選手へのサービス

アスリートラウンジは下見日(8月21日と23日)とレース日(8月25日と26日)の08:00から14:00に開いています。ラウンジではドリンク、フルーツ、タオル等が用意しており、情報提供用コンピュータがオリンピックデータベースに接続されています。メディカルサービスも8月21日23日, 25日26日には受けられます。レース日は、レース後の選手のためにパスタやサラダが用意されます。

更衣室

レースサイトには全部で2箇所の更衣室があります。更衣室にはマッサージテーブルと椅子があります。シャワーも準備されています。選手はいつでも更衣室を使えます。アスリートラ



ウンジ内にはロッカーがあり、選手は手荷物をここに入れておかなばなりません。選手サービス担当者がこの選手の手荷物保管について責任を持っています。

タイミングバンド

レース当日、選手にはタイミングバンドが渡されます。これは右足首に装着して下さい。アスリートラウンジで選手に渡されます。レースナンバーが渡され、タイミングバンドが足首に装着されたら、計時機能のバリデーションプロセスが開始されます。タイミングバンドとレースナンバーをリンクさせて、スタートリストに反映させるためです。選手はレース後、トランジションエリアにバイクを取りに行く際、タイミングバンドを返さなければなりません。



競技手順

レースカウントダウン

レース前手順

| レース前 | アクティビティ | 場所 |
|----------------|--|-------------------|
| 2時間 30分 | 会場オープン | ブリアグメーニオリンピックセンター |
| 2時間 30分 90分 | 選手チェックイン, 計時バンド渡し ウォーミングアップのためコースオープン | アスリートラウンジ |
| 45分 | バイク・ランコース閉鎖 | |
| 30分 | スイムコース閉鎖 | |
| 15分 | 選手歓迎紹介 | |
| 2分 | レーススタート手順開始 | |
| 0分 | レーススタート | |

レース後手順

| レース後 | Activity | 場所 |
|---------|---------------|---------|
| 1分 | 選手はミックスゾーンに移動 | ミックスゾーン |
| 2-5分 | ドーピング検査 | |
| 15分 | メダル授与式(表彰式) | |
| 35分 | 記者会見 | |
| 90-120分 | 選手は会場を離れる | |

レース前の手順

選手到着

選手とチームオフィシャルの選手村からのブリアグメーニオリンピックセンター到着は7時半です。

アスリートラウンジ

アスリートラウンジはトランジションエリアの近くにあります。スポーツインフォメーションデスクはこのラウンジ内にあります。デスクの営業時間はラウンジと同じで、飲み物類用意されています。

選手はラウンジで情報システム(INFO 2004)とテレビを楽しめます。INFO 2004は分刻みでオリンピック関連の最新情報を提供するものです。

ウォーミングアップ

コース上でウォーミングアップができます:

| | 開始 | 終了 |
|-----|-------|-------|
| スイム | 08:30 | 09:30 |
| バイク | 08:30 | 09:15 |
| ラン | 08:30 | 09:15 |

ポセイドンストリートの会場入口からアポロノスストリートの信号までのウォーミングアップをエリアでレースの90分前に選手はウォーミングアップを開始することができます。ウォー



ーミングアップコースは交通の流れ方向の反時計回りです。09:30.以降は 選手がトランジションエリアに入ることができなくなります。

選手紹介

選手 が観客スタンドの西エンドに 09:35 から 09:40 の間にナンバー順に集合します。公式のアテネオリンピック歓迎式典が 09:40 から始まります。9:50 には、アナウンサーが選手を歓迎する言葉を流し、この言葉に併せて、選手がポンツーンへの道に導かれます。選手は真っ直ぐにポンツーン上のスタート地点に進みます。ポンツーン上には進行方向右から順に 1 から 50 まで番号が振られています。

レース中

コース

トライアスロンコースはITUに承認されています。:

スイム 1.5km

スイムコースは反時計回り1周で四角形状です。スタートは幅 50 mの浮き桟橋（ポンツーン）です。最初の直線は 410m. コーナーブイは黄色で15mの長さのソーセージ形状です。第4コーナーを回るとコース終了まで少し。そこからトランジションエリアに導かれます。

バイクコース

バイクコースは 8km を 5 周でトータル 40km です。コースは 5 エリアに分かれており、エリアリーダーがバイクコース監督の元にコントロールしています。コースは時計回りで交通の流れの逆です。オセアニダビーチ（Oceanida Beach）を出発して、選手はアテナズアベニュー（Athenas Avenue）を北上しニオビスストリート（Niovis Street）で折返します。アテナズアベニューを戻り、エルモウストリート（Ermou Street）で左折、エラトウスストリート（Eratous Street）で右折、マプロレオントスストリート（Mavroleontos Street）で左折、パノスストリート（Panos Street）に右折で入り、ポシドノスアベニュー（Posidonos Avenue）に左折で入り、丘の上の駐車場で右折するまでこの通りの上ります。ここから又トランジションエリアまで戻るコースで、コースの高低図は図 1 の通りです。



ATHENS 2004 Olympic Triathlon Bike course elevation

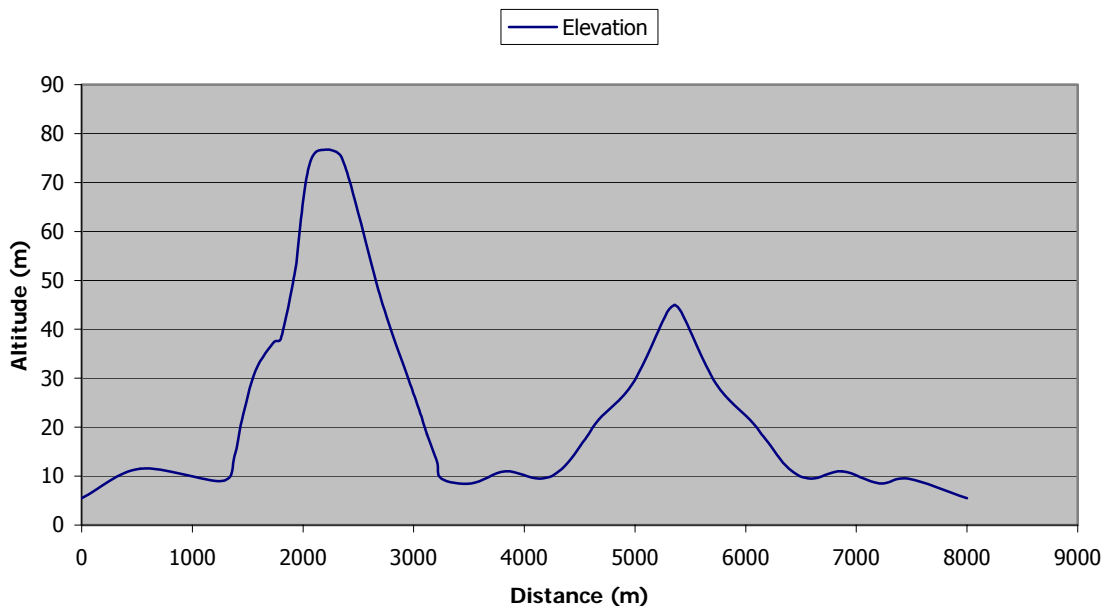


図 1: バイクコース高低図

ランコース

ランコースは1周 3.33kmを3周。一部バイクコースの第1第2エリアと重なります。これは第2折り返しのある部分で、ここから先はバイクは第5エリア（通行止）となります。ランナーは第2折り返し地点からエルモウストリートをこの道路の同じ側を戻ることになります。それは第5エリアからバイクで戻ってくる選手も同時に競技できるようにするためです。

エイドステーション

全部で6個所のエイドステーションがランコース上約600mおきに設けられます。水のボトル入りが用意されます。このボトルは厳重に監視され、配布直前に開封されます。開封していないボトルも取れます。各エイドステーションはテクニカルオフィシャルが管理しています

トランジションT1

トランジションを通る選手の流れは選手が前方向に進行しつづける様に工夫されて設計されています。選手は外側のランレーンから入り、スイムギアを各自のバイクラック脇の容器に入れなければなりません。T1ではバイクの後輪が個別に独立したスロットに刺されており、バイクはエリアの出口の進行方向を向いて立っています。選手名とナンバーがそれぞれのバイクラックの頂点に掲げられています。ヘルメットを被ったら、選手はバイクをセンターレーンに押し出して乗車ライン方向に走り出します。

トランジション T2

後者ラインから選手はセンターレーンをバイクを押しながら自分のラックまで戻ってきます。選手はバイク前輪を自分のラックのスロットに刺します。ランニングシューズはラック脇の容器に用意されており、靴を履いたら、選手は外側のランレーンにそのまま飛出していきます。両方の外側のランレーンはトランジションエリアの端で合流しています。

ホイール交換所

6個所のホイール交換所がバイクコース上に置かれます。もし選手のバイクがパンク等のトラブルがあれば、近くの交換所でメカニックによるアシスタンスが受けられます。この手順



は20～30秒のロスですが、選手は素早くレースに復帰できます。

各交換所では、1名のバイクメカニック、1ボランティア、1 ITUオフィシャルが待機し、：

- 26 インチ(600C) フロント2本;
- 28 インチ (700C) フロント4本;
- 26 inch (600C)リア シマノ 9段2本;
- 28 インチ (700C) リア シマノ 9段4本;
- 28 インチ (700C) リア カンパニョーラ 10段4本.

が準備されています。

競技エリア アシスタントとオフィシャル

バイクとランコースは5エリアに分かれています。コース上のオフィシャルは120人。ITU指名の国際オフィシャルは選手を管理する責任をもちます。テクニカルオフィシャルはオレンジベストを着ています。その他のオフィシャルと競技エリアアシスタントは、主として安全管理と連絡、および緊急対応です。

競技エリアの封鎖中 (レース日08:00 からレースの終了まで)一切の車両の通行は禁止され、コースを横切るとはメディアとテクニカルオフィシャルのオートバイのみに許されることとなります。観客が横断できるポイントは警察が管理するポイントで、選手が通過していない時に限られます。

気象条件

気象条件は競技成功の重要な条件です。南風はスイムコースが荒れる原因になり、悪名高いバイク第5エリア(岬の折り返しポイント)で強い風となって苦しめます。予報詳細は、選手&監督会議で説明します。

緊急時

競技中、医療サービスは次のような人員と機材を準備しています。

| | |
|--------------|------------------------|
| 医療センター監督 | 1 |
| 選手対応医師 | 4 |
| 看護婦 | 2 |
| 医療対応人員 | 2 |
| 救急士 | 8 |
| 観客対応医師 | 1 |
| 救急車 | 3 (2人ずつ待機) |
| EKAV モーターバイク | 3 (1人ずつ待機。更に、EKAB医師1名) |

事故時は、100m手前のボランティアが旗を上げて接近する選手に異常を知らせます。事故ポイントのボランティアは選手のバイクを競技エリアから排除します。救急隊はオートバイを用います。救急車が必要な場合、車を道端のバリアにできるだけ近く停めます。同時に、競技エリアアシスタントがコーンをその回りに並べ、後続が追突せぬ様エリアを確保します。

スイム中に事故が発生した場合、ヘルスサービスのボートが選手を引き上げ(海上救助手順に従い)スイムコースとメディアから離れるように選手を運びます。もし選手が特別な措置を必要とする場合、Voula 病院へ運びます。コース上の要員は全て特殊な訓練を受けています。オートバイ運転手はコース上で選手にとってドラフト効果を生むような走り方をしないようトレーニングされています。



レース後手順

フィニッシュライン

フィニッシュラインはフィニッシュアーチにあります。着順判定カメラが微妙な判定には利用されます。タイミングバンドは着順判定には使用しません。

フィニッシュゾーン

競技終了後、全ての選手はフィニッシュゾーンから出て、ミックスゾーンに導かれます。表彰者（金銀銅メダリスト）とドーピング検査指名者はエスコートされ、ミックスゾーンから表彰式とドーピング検査場に導かれます。開封していないボトルウォーターがフィニッシュゾーン出口までに貰うことができます。医療ケアが必要な選手はメディカルセンターに運ばれます。まだ競技中の選手のために、フィニッシュした選手はコースに戻ることを自粛することが求められます。フィニッシュした選手はトランジションエリアで観客から十分な祝福が得られます。

ミックスゾーン

ミックスゾーンはIOCのオリンピック規定にもとづいて競技エリア内で運営されています。一般に、ミックスゾーンは最も競技エリアに近いところで放映権を有するメディアカメラが陣取る場所です。AOBとATHOCのプレスオペレーションスタッフがミックスゾーンのメディアをコントロールします。このゾーン内のオリンピックニュースサービスレポーターが放送ビデオのフラッシュを提供します。選手はミックスゾーンを通過して競技エリアから出ていきます。選手はプレスや報道関係者に何かコメントするように協力してあげてください。

インタビュー

選手あるいはNOCオフィシャルへのインタビュー依頼がNOCプレスあるいはNOCオフィシャルと接触のある会場のプレスマネージャーから入ることがあります。インタビューは競技会場、メインプレスセンター（MPC）、あるいはオリンピックビレッジメディアセンターで行われます。メインプレスセンターのオペレーションについての詳細は#頁をご覧ください。

記者会見

記者会見は競技後各競技会場で行われます。NOCはメインプレスセンター（MPC）、あるいはオリンピックビレッジメディアセンターでの記者会見場を必要に応じて予約可能です。

リザルト(結果発表)

すべての結果はチームリーダー宛にスポーツインフォメーションデスクの整理棚配布で届けられます。更に、殆どの情報は、INFO2004の端末で見られます。すべての情報（ORIS出力）はIOC、ITU、ATHOC、ATOS オリジンとSWATCHとで合意されたORIS文書の印刷物提供/配達ルールに基づき、各チームに届けられます。印刷物の内容に修正が必要な場合は、INFOシステムで受け付けられます。

印刷された出力物はよほどの修正が無い限りITUイグゼクティブディレクターとATHOC競技本部の承認が取ればATHOCプレスオペレーションとの打ち合わせ後、リプリントに廻されます。

もし既に配布されたアウトプットに修正バージョン（例えば2.1）が出た場合は、“CORRECTED”と印字され、修正番号入りで印刷されます。

表彰式

表彰式はブリアグメーニオリンピックセンターで8月25日26日のレース終了10分後から行います。

1.2.3位選手がオリンピックプロトコルに則り表彰されます。



表彰される選手は各国 NOC オフィシャルジャージ, シャツ、靴を履きます。表彰式には禁止されている服装で出るとは許されません。

ドーピング検査

ドーピング検査は IOC アンチドーピングルールと WADA 規定と国際標準に則り行われます。

トレーニング

トレーニングサイト (練習場)

トライアスロンのトレーニングサイトは、Dekelia プール、NOV プール、Varybobi サーキット、Dekelia 陸上競技 K3 施設、それと競技エリアであるプリアグメニ オリンピックセンターで、それぞれ 900m, 44km, 6km, 900m そして44km オリンピックビレッジから離れています。付帯設備として 更衣室, シャワー医務室, ラウンジ、メディアエリア、があります。

トレーニングスケジュール - スイム

デケリア (Dekelia) プール

| | |
|-------------------|--------------------------|
| トレーニングサイトの種類 | Dekelia Training Complex |
| 営業時間 | 13:00 - 15:00 |
| 営業日 | 7月30日から8月25日 |
| Training Sessions | 120 分 |

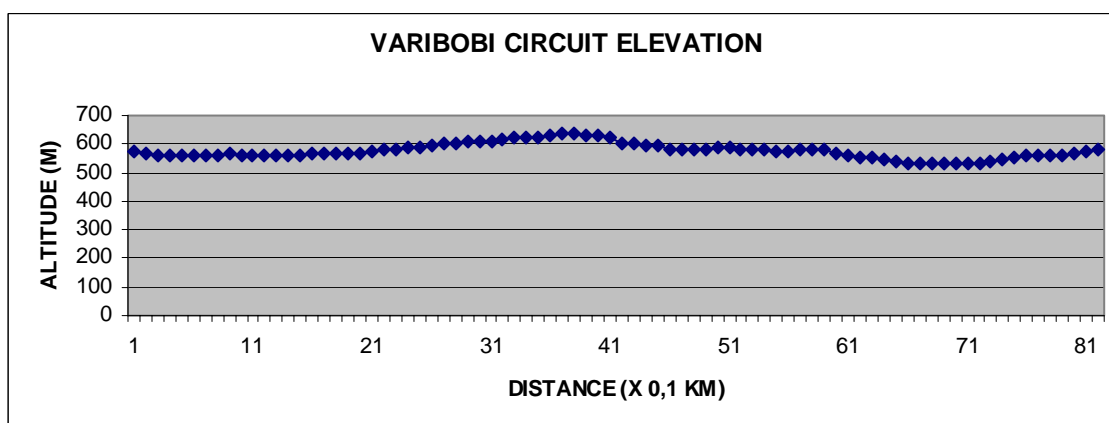
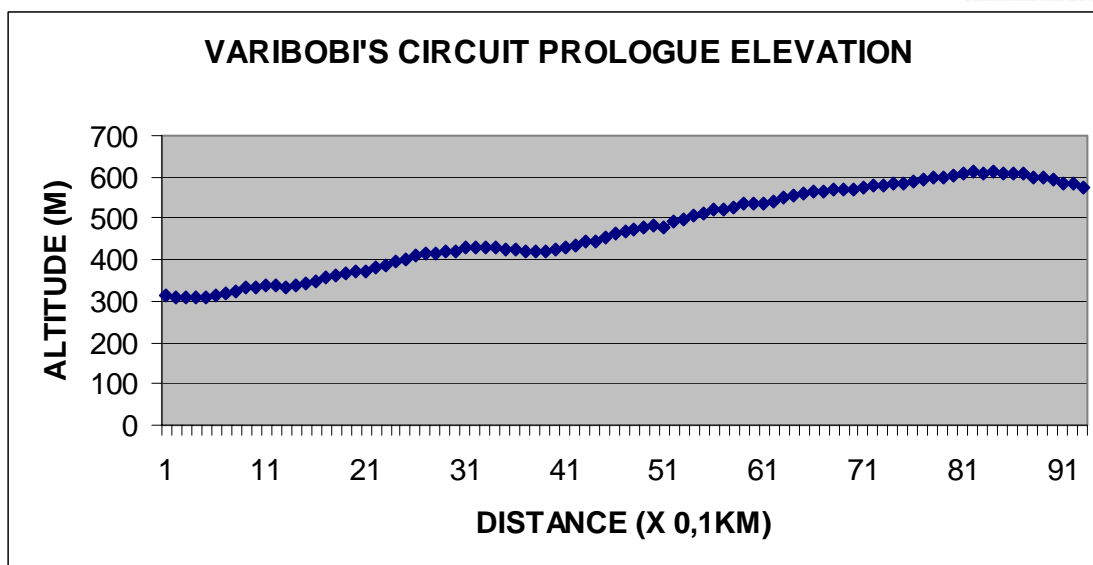
NOV プール

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| トレーニングサイトの種類 | 独立トレーニング場 |
| 営業時間 | 07:30 - 12:00 & 16:00 - 20:30 |
| 営業日 | 8月12日から25日 |
| Training Sessions | 90 分 |

トレーニングスケジュール - ロードサイクリング

バリボビ (Varybobi) サーキット

| | |
|--------------|---------------|
| トレーニングサイトの種類 | 独立トレーニング施設 |
| 営業時間 | 09:00 - 14:00 |
| 営業日 | 7月30日から8月26日 |



トレーニングスケジュール - ランニング

Dekelia 陸上競技 K3 施設

| | |
|--------------|-----------------------|
| トレーニングサイトの種類 | Dekelia トレーニングコンプレックス |
| 営業時間 | 08:00 -22:00 |
| 営業日 | 7月30日から8月26日 |

Dekelia 陸上競技 K3 施設

トレーニングスケジュール - 競技会場

ブリアグメニ オリンピックセンター

| | |
|------------|----------------------|
| 下見トレーニング日時 | 8/21 |
| | 08:00 -10:00: バイクコース |
| | 10:00 -12:00: スイムコース |
| | 8/22 |
| | 16:30 -17:30: スイムコース |
| | 8/23 |



10:00 -11:30: バイクコース
11:30 -13:00: スイムコース

全てのトレーニングセッションはメディアに公開されています。 .

7月 27日からチームオフィシャル とプレスはINFO 2004にアクセス可能となり、このシステムでトレーニングスケジュールとどのトレーニングセッションがメディアに公開か非公開か見ることができます。

オリンピックビレッジスポーツセンターコンプレックスは、オリンピックビレッジの北エリアにあり、フィットネスやジョギング、レクリエーション施設があります。

NOV スイミングプールの予約手順は各国 NOC にお問い合わせ下さい。